

今冬の感染性胃腸炎の集団発生事例について

- 感染性胃腸炎は、多種多様な原因によるものを含む症候群であり、主な病原体は、細菌、ウイルス、寄生虫が本疾患の起因病原体となり、ウイルス性の代表的なものに、ノロウイルス、ロタウイルス、腸管アデノウイルスなどがある。
- 感染症胃腸炎の発生状況については、感染症法第14条に基づき、約3,000箇所の医療機関からの発生届出により、発生動向調査を行っており、本年における発生状況は、例年同様の発生状況である。(グラフ参照)
- 今回、広島県の特別養護老人ホームを始め施設での集団発生事例を踏まえ、早急に都道府県等の把握している事例を集計したが、各地において施設での集団発生が認められた。
- 集団発生は、例年発生していたと推定されるが、厚生労働省としては、今回の事例を契機に引き続き発生動向を監視するとともに、施設等における衛生管理の徹底により感染の予防、拡大の防止に努めてまいりたい。

今冬の感染性胃腸炎の集団発生事例(把握分)について(全国数) (単位:人)

施設数	感染者数	うちノロウイルスが検出された者 (ノロウイルスによる感染が疑われる者も含む)	死亡者数
236	7,821	5,371	12

(詳細については、別紙参照)

平成16年11月以降の感染性胃腸炎の集団発生事例(把握分)について

(平成17年1月12日 12時現在での報告数)

	施設数	感染者数	うちノロウイルスが検出された者(ノロウイルスによる感染疑われる者も含む)	死亡者数
北海道	31	1,422	1,422	0
青森県	4	176	176	0
岩手県	1	20	0	0
宮城県	0	0	0	0
秋田県	9	319	319	0
山形県	7	290	290	1
福島県	2	60	0	0
茨城県	10	384	44	0
栃木県	0	0	0	0
群馬県	14	357	0	0
埼玉県	6	265	216	0
千葉県	17	597	597	1
東京都	1	54	54	0
神奈川県	8	343	256	1
新潟県	2	27	0	0
富山県	2	41	0	0
石川県	1	35	0	0
福井県	1	41	41	0
山梨県	1	78	78	1
長野県	3	125	0	0
岐阜県	3	104	104	0
静岡県	1	16	0	0
愛知県	5	181	15	0
三重県	8	350	200	0
滋賀県	2	51	51	0
京都府	6	202	131	0
大阪府	18	676	547	0
兵庫県	17	422	124	0
奈良県	1	20	0	0
和歌山県	2	61	43	0
鳥取県	4	18	0	0
島根県	2	35	0	0
岡山県	4	12	0	0
広島県	9	268	170	7
山口県	4	95	0	0
徳島県	1	54	54	0
香川県	1	10	0	0
愛媛県	1	48	48	1
高知県	0	0	0	0
福岡県	9	215	70	0
佐賀県	0	0	0	0
長崎県	1	18	0	0
熊本県	1	36	36	0
大分県	12	178	178	0
宮崎県	2	59	59	0
鹿児島県	1	10	0	0
沖縄県	1	48	48	0
合 計	236	7,821	5,371	12

- 注 1)感染性胃腸炎は、感染症法上5類疾病の定点把握調査となっており、全数把握対象になっていない。
 2)今回の調査数については、都道府県等が事実上把握しているものを報告させたもの。
 3)感染者数については、感染性胃腸炎の症状を有した者を含む。
 4)死亡者数について、因果関係不明なものも含む。

発生動向調査による感染症報告数（5類感染症【定点把握】）及び死亡数

【感染性胃腸炎】

西暦	元号	定点報告数	定点当り報告数	全死亡数
1999	平成11	507,592	176.55	1,161
2000	12	886,174	297.57	1,183
2001	13	874,241	289.58	1,242
2002	14	889,927	293.12	1,228
2003	15	906,803	298.19	1,398

資料：報告数は「感染症発生動向調査」、死亡数は統計情報部「人口動態統計」
 感染症胃腸炎の定点は小児科を含む病院又は診療所のうち約3,000箇所を選定
 注1：平成11年の報告数については、4月から12月までの数値である。
 注2：平成15年の報告数については、概数である。

感染性胃腸炎※1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む

